

認証組織の情報公開ガイドライン

No	情報公開項目	具体的公開内容	公開の目的、主な利用法（エンドユーザーの視点）
1	企業方針	品質、環境、ISMS 基本方針等（認証されている MS に係る方針全てを明示することが望ましい）	当該組織の基本方針について理解
2	目標	品質、環境、情報セキュリティ等、分野毎の目標の概要 ※補足事項 昨年度の目標に対する達成度を記載することが望ましい	目標（とその達成状況）の理解
3	認証の対象となっている製品・サービス、活動	認証を受けている事業所一覧と認証範囲 ※補足事項 特に、認証の対象となっていない事業所、製品・サービス、活動があれば区別すること。 また、品質保証・環境管理体制等、特筆すべき活動状況があれば記載することが望ましい	どのような製品・サービス、活動が認証の対象となっているのかを理解する(認証の対象外となっている事業所、製品・サービス、活動があるか) また、活動の実態を理解する。
4	製品・サービスに係る法規制順守状況	関連法規制の順守の仕組みと実績 ※補足事項 関連している法規制のうち主要なものは明記する。 顧客だけではなく、ステークホルダーとの対話についてどの様に考え、対応しているか。苦情対応だけでなく、積極的に情報を公開したり、地域とのコミュニケーションを図る活動も対象として記述することが望ましい。 また、いわゆるマスコミ等により報道される法	どのような法規制がかかっているのか、その遵守のためにどのような仕組み（MS）を構築運用しているのかを理解する。 また、いわゆるマスコミ等により報道される法令順守違反、リコール等については、事後の対応も含め理解する

認証組織の情報公開ガイドライン

		令順守違反、リコール等については、事後の対応も含め、説明することが望ましい。	
5	ステークホルダーとのコミュニケーション状況（顧客苦情対応を含む）	ステークホルダーとのコミュニケーション（近隣住民への説明会、事業所見学会、顧客苦情対応の仕組み（対応窓口、対応実績を含む）等。 EMS については、著しい環境側面についての外部コミュニケーションへの対応。	ステークホルダーの理解を深めるような活動の実績、顧客苦情にどのように対応しているのかを理解する
6	内部監査の状況	内部監査実施状況（監査は、毎年何月頃、誰がどの様に実施し、その結果はどのような仕組みの改善に役立っているのか） 補足事項 内部監査において発見した課題そのものを逐一公開する必要はなく、組織の業務改善に内部監査が果たす役割、規模・頻度、マネジメントレビューの仕組みと合わせ、トップからの対応の指示が明確にだされ、組織全体の業務改善に結びついていることを示すことが望ましい。	内部監査の仕組みと、監査結果により改善に結びつけた事例の紹介を含めた実施概要を理解する
7	マネジメントレビューの状況	マネジメントレビューの仕組み（誰が参加し、何を検討し、どのような指示が出され、それが次の改善目標にどのように繋がっているのか） 補足事項 マネジメントレビューの内容を逐一公表する必要はない。 PDCA における Action の出発点であ	マネジメントレビューの開催状況（開催頻度、参加者、開催の目的、何をレビューし、どのような指示が出されているのか）並びにその結果として如何に組織の業務改善につながるのかについて理解する

認証組織の情報公開ガイドライン

		るマネジメントレビューの役割、組織の運営における重要さが浮き彫りとなるような記述であることが望ましい。	
--	--	-----------------------------------------------------	--